

教科	科目	単位数	学年	集団
商業	情報処理	2	2	ビジネス探究科

使用教科書	副教材等
情報処理（東京法令出版）	全国商業高等学校協会主催情報処理検定試験パスポート3級（とうほう） 全国商業高等学校協会主催情報処理検定試験パスポート2級（とうほう）

科目の目標
<p>商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、企業において情報を適切に扱うために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。 (2) 企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 (3) 企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>

評価の観点とその趣旨	
①知識・技能	ビジネスの様々な場面で役に立つ情報の収集・処理・分析・表現と活用に関する知識や技術を身につけている。
②思考・判断・表現	情報を扱うための知識や技術を活用して、情報に関する課題を発見し、解決するための思考力・判断力・表現力を身につけている。
③主体的に学習に取り組む態度	組織の一員として自己の役割を認識し、情報に関する知識や技術を活用して、協働して課題を解決しようとしている。
評価方法	
①知識・技能…定期試験、小テスト ②思考・判断・表現…定期試験、提出物の点検 ③主体的に学習に取り組む態度…授業・実習への取り組み状況・提出物の提出状況	

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材などの内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	企業活動と情報処理	ビジネスと情報 コミュニケーションと情報デザイン 情報モラル	①企業における適切な情報処理について理解しているとともに、関連する技術を身につけている。 ②情報処理の意義と課題を発見し、企業活動と関連づけて見いだしている。 ③企業における情報処理について自ら学び、適切な情報処理に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○
5	コンピュータシステムと情報通信ネットワーク	コンピュータシステムの概要 情報通信ネットワークのしくみと構成	①コンピュータシステムと情報通信ネットワークについて実務での活用に即して理解しているとともに関連する技術を身につけている。 ②コンピュータシステムと情報通信ネットワークに関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、情報を収集し管理する方策を考察して実施し、評価・改善している。	○	○	○
		中間テスト 情報通信ネットワークの活用 情報セキュリティの確保	③コンピュータシステムと情報通信ネットワークについて自ら学び、適切な情報の収集と管理に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○
6	情報の集計と分析	ビジネスと統計 表・グラフの作成 ・基本的関数 ・応用的関数	①ビジネスに関する情報の集計と分析について実務に即して理解しているとともに、関連する技術を身につけている。	○	○	○
7		期末テスト		○	○	○
		・グラフの作成				

9		表計算ソフトウェア 表計算ソフトウェアの 活用	②ビジネスに関する情報の提供に対する要求を分析し、科学的な根拠に基づいて、情報を集計・分析して表現し、評価・改善している。	○ ○	○ ○	○ ○
10	中間テスト			○	○	○
		情報の分析	③ビジネスに関する情報の集計と分析について自ら学び、適切な情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○
11		問題の発見と解決の方法 ・アルゴリズム ・プログラミング	①問題分析のモデル化、シミュレーション及びプログラミングの基礎的な技法を用いた問題の発見と解決などの技術を身につけている。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
12	期末テスト			○	○	○
	ビジネス文書の作成	文書の表現	①ビジネス文書の作成について実務に即して理解しているとともに、関連する技術を身につけている。 ②ビジネス文書の作成に対する要求を分析し、科学的な根拠に基づいて、文書で発信することが必要な情報を表現し、評価・改善している。	○	○	○
1		文書ソフトウェアの特徴 ビジネス文書の種類と作成	③ビジネス文書の作成について自ら学び、ビジネス文書による適切な情報の発信に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○ ○	○ ○	○ ○
2	プレゼンテーション	プレゼンテーションの技法	①プレゼンテーションについて実務に即して理解しているとともに、関連する技術を身につけている。	○	○	○
		プレゼンテーションソフトウェアの 基本操作と活用	②プレゼンテーションに対する要求を分析し、科学的な根拠に基づいて、伝達することが必要な情報を表現し、評価・改善している。 ③プレゼンテーションについて自ら学び、適切な情報の伝達に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○ ○	○ ○	○ ○
3	学年末テスト			○	○	○